

「ヘルプマーク」をご存じですか？

問 住民福祉課 社会福祉係 ☎62-9144



ヘルプマークとは、「援助が必要な方」のためのマークです。

障がいや持病のある方、または妊娠初期の方の中には、外見からは分からなくても援助や配慮を必要としている方がいます。そのような方々が援助を得やすくなるよう、周囲に知らせる意思表示のサインとして普及しているマークです。

このマークを見かけた場合は、席をゆずる、困っているようであれば声をかける等、思いやりのある行動をお願いします。ヘルプマークは、援助を必要としている方へ役場にて配布をしています。障害者手帳の有無は問いませんので、ご希望の方はお問い合わせください。

●障がい者に関するマークを知ろう

このマークを見かけた場合には、配慮についてご理解、ご協力をお願いします。

身体障害者標識



肢体不自由であることを理由に運転免許に条件を付されている人の車に表示するマークです。

聴覚障害者標識



聴覚障がいであることを理由に運転免許に条件を付されている人の車に表示するマークです。

ハート・プラスマーク



外見では分かりにくい身体内部に障がいがある人を表すマークです。

耳マーク



聞こえが不自由なことを表すマークです。また聞こえない人・聞こえにくい人への配慮を表すマークでもあります。

※この他にも、障がい者に対応した設備や取り組み、ルールなどがあることを示したマークがあります。

●12月3日から9日は「障がい者週間」です

障がいの種類や程度はひとりひとり違います。そして、障がいは事故や病気により誰にでも生じるものです。また、外見ではわからない不自由さを抱えている人もいます。この機会に障がい者福祉への理解と関心を深め、共にあらゆる分野への社会参加を積極的に推進しましょう。



日本赤十字社長野県支部より

安眠セット300セットが備蓄されました

問 住民福祉課 社会福祉係 ☎62-9144

日本赤十字社長野県支部では、災害用救援物資の整備事業を行っており、県内22カ所で、毛布11,089枚、緊急セット6,025セット、安眠セット8,372セット、タオルケット1,300枚が備蓄されています。

現在、富士見町分区には災害用毛布500枚が備蓄されていますが、今回新たに「安眠セット」300セットが役場に備蓄されました。「安眠セット」はマットレスやアイマスク、空気枕などがセットになっており、避難所での生活の支援となるものです。



この活動は、皆様からいただいた「日赤活動資金」により行われています。皆様のご協力に感謝いたします。